

毒性のため激減している。

また、雨季に入るとゴムの新葉が出て収量が上がらなくなるが、この期間の短縮にもエスレルの効果が絶大で広く使用されている。

オイルパームの問題としては、成木になるとうっ蒼と繁り1枚の葉ごとに果実をつけ、年中収穫できるが、切り落したところにシダ類が生え、生産力を低下させ、寿命を短くしているとのことである。

2) サトウキビ・バナナ・パイナップルなど

フィリピンとタイでは、サトウキビが重要な輸用作物であるが、経営規模は概して小さく、インドネシアの場合は昔と異なり大量の輸入国となっている。除草については、他の地域と同様に、生育初期の2,4-D散布、2,4-DとDCMUの混剤が普通で、最近ではアトラジン、アメトリンなどトリアジン系混剤の茎葉兼土壌処理も普及して来ている。

防除にくい雑草としては、ギョウギシバ、*Brachiaria mutica*、ハマスゲなどがあり、新規薬剤も供試されているが、発生後2カ月程度で作物が雑草に負けない競争力を持つため、価格の安いことが優先する。地域により、ハマスゲなど塊茎或いは宿根性のものに卓効のある中耕が機械力を用いて盛んに行なわれている。

サトウキビは、精糖工場との関係から当然地域的に集中し、協同組合による集団栽培となっ

ており、技術的な面も画一化されている。

輸出用のバナナ、パイナップルのほとんどは、フィリピンのミンダナオ島の4つの大プランテーションで生産されており、独自の研究施設を持ち、直接資材の輸入、生産物輸出を行なう国際的企業で、トマト・アスパラガスなど熱帯への新規作物導入にも極めて熱心である。

バナナの場合、成木園では年中繁茂し、収穫株を切り倒したときは、次の株に幼果ができており、年間を通じて一定した気象条件のもとに安定した生産、出荷が行なわれる。

直射日光がほとんど入らないくらいに繁茂したバナナ園の下草の発生は少なく、普通パラコート連用、局所散布で、充分といわれている。

しかし、開墾して植え付け、成木に達する最低3カ年の手刈り労力は大変なものである。

パイナップルは密植で、生育の途中は作業に入らないため、植付時に残効の長いBromoxynilやDCMUなどが好んで使用される。普通3年に1度の植え付けで、連作のため雑草は少なく、除草のウエイトは低いといえよう。

以上のほか、タバコ・茶・ココア・コーヒー・マンゴー園などにおいては、一部例外を除けば、現状では手刈りが一般で、道路周辺部などの非農耕地でも、除草の必要なところは想像以上に手刈りがゆきとどき、整然としている。

昭和51年度秋冬作芝生関係 除草剤・生育調節剤試験成績概要

財団法人 日本植物調節剤研究協会技術部

昭和51年度秋冬作芝生関係除草剤・生育調節

剤試験成績検討会は、昭和52年6月21日、第25

森ビル第3会議室（東京都港区六本木1-4-30）において開催された。

会議には、専門調査員、試験関係者等16名、委託関係者33名が参集し、除草剤5剤、生育調

節剤1剤（試験点数計22点）について慎重に検討し、判定会議を経て、次の通りの判定結果を得たのでここに報告する。

昭和51年度秋冬作芝生関係除草剤・生育調節剤供試薬剤判定結果一覧表

A 除 草 剤

No	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有効成分と 含 有 率	委 託 者 名	対象芝生名	対 象 雑 草 (処理方法)	新継続 前 回 判 定	試 験 場 所 (数)	今回 判定 結果	判 定 の 理 由 内容・その他
1.	AK-50	水和	N-(1-エチルプロピル)3,4-ジメチル-2,6-ジニトロベンゼンアミン …50%	クミアイ化学工業	コウライシバ、ノシバ、ベントクラス。	メヒシバ、オヒシバ、スズメノカタビラ、キク科等広葉一般。 〔雑草発生前土壌〕	新規	千葉農試、程ヶ谷CC、にのみやCC、スリハンドレッドC、豊田CC、東名古屋CC、関西グリーン研、西日本グリーン研、玄海GC、植調研。(10)	継	有望であるが継続して検討。
2.	CC-102	水和	未 公 開 …45%	日 本 農 薬	コウライシバ、ノシバ、	スズメノカタビラ、スズメノテッポウ、ハコベ、ノミノフスマ、ハハコグサ、イヌノフグリ。 〔雑草発生前土壌〕	新規	にのみやCC、豊田CC、関西グリーン研、西日本グリーン研。(4)	継	有望であるが継続して検討。
3.	CH-06-W	水和	未 公 開	中 外 製 薬	日 本 芝。	一年生雑草一般、およびカタバミ。 〔土 壌〕	新規	植 調 研。(1)	—	今年度基礎試験、適用性試験に移して実施可。
4.	KH-7205-G 〔TCTP〕 〔cl-IPC〕	微粒	・2,3,5,6-テトラクロルテレフタル酸ジメチル(TCTP) …15% ・イソプロピル-N-(3-クロロフェニル)カーバメイト (cl-IPC) …1.8%	キング化学	日 本 芝。	イネ科一年生雑草。 〔土 壌〕	継 実・継	東京農試、柏GC、程ヶ谷CC、スリーハンドレッドC。(4)	実・継	実：日本芝に対し、イネ科一年生雑草発生前～発生始期(芝生育後期)、20~30g/m ² 、全面土壌処理。(均一散布) 継：ただし、散布前の気象条件(晴天)をまもる。

No.	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有効成分・ 含 有 率	委 託 者 名	対象芝生名	対 象 雑 草 (処理方法)	新継別 前 回 判 定	試 験 場 所 (数)	今回 判定 結果	判 定 の 理 由 内 容 ・ そ の 他
5.	S Y - 72 〔MCP・ レナシル シザゲン〕	粒	・ 2-メチル -4-クロ ルフェノキ シ酢酸 …3.0% ・ 3-シクロ ヘキシルー 5,6-トリ メチルウラ シル …1.0%	石 原 産 業	芝 一 般.	広葉雑草全 般. 〔土 壤〕	継 実・継	東 京 農 試.	実 ・ 継	実：ペントグ ラスを除いた芝 に対し、一年 生イネ科雑草 発生前10~20 g/m ² , 全面 土壌処理 (均 一散布). イネ 科優占開場. 継：広面積での 広葉雑草に対 する効果確認.

B 生育調節剤

No.	薬 剤 名 〔種類名〕 〔商品名〕	剤 型	有効成分と 含 有 率	委 託 者 名	対象芝生名	試 験 の ねらいと 処 理 方 法	新継別 前 回 判 定	試 験 場 所 (数)	今回 判定 結果	判 定 の 理 由 内 容 , そ の 他
1.	T.M. (A,B,C)	粒	未 公 開	中 外 製 薬	日 本 芝.	秋~冬期の 日本芝につ いて, 枯れ あがり, 時 期の延長及 び発芽期の 生育促進. 〔土 壤〕	新規	植 調 研. (1)	継	

外 国 文 献 抄 録

Biocontrol of Purple Nutsedge by
Bactra verutana Zeller in a Greenhouse
K.E.FRICK and P.C.QUIMBY, JR.

1925 年, *Bactra venosana* Zeller がフィ
リッピンからハワイに導入された, (参考,
Bactra truculenta Meyrick シチトウイシン
ムシガ) ついで, オーストラリアにおける研究
で, この幼虫がハマスゲ (*Cyperus rotundus*
L.) の抑制に役立つことが判り, 北米では, *B.*
verutana Zeller によってハマスゲの抑制作用

が研究された。

強雑草ハマスゲの生物的防除手段として, こ
の昆虫に多大の関心と論議が寄せられているの
で, 各種の条件のもとで, どれだけの効果を示
すかを評価するためこの実験を行なった。

材料と試験方法

1974 年, 野外で採取した *B. verutana* の
幼虫を飼育した。供試植物のハマスゲは, 原則
として萌芽塊茎を用いたが, 試験の中で6セッ
トについては, 単一の塊茎から発生した栄養系